

特集  
命を守る行動をとる、  
ということ。

▼ CHAPTER「水害」

## もしも水害が 起こったら

一言で「水害」と言っても、要  
因や種類はさまざまです。一般的  
に、大雨・暴風雨・台風などに  
よる浸水被害や河川の氾濫などを指  
します。

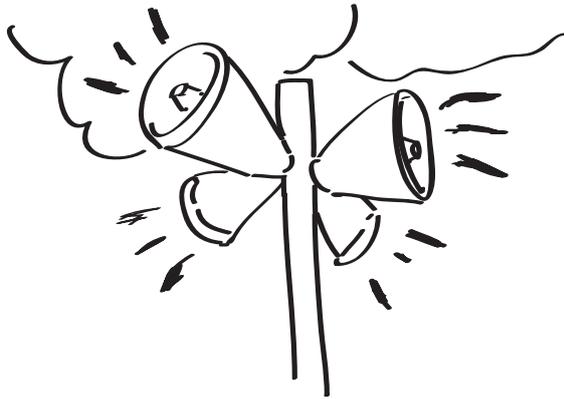
風水害はおおむね、予測ができ  
ます。テレビやインターネットな  
どを使い、積極的に情報を取得し、  
早めの備えを行ってください。

では、実際に発生の恐れがある  
ときは、どのような行動をとれば  
いいのでしょうか。

まずは最新の気象情報に注意す  
ること。警報などが発令されてい

# 知っておくこと。

## 避難情報を確認



### ●避難情報を確認

洪水や土砂災害のリスクが高まった際は、町から避難情報を防災行政無線などで発令します。避難情報が発令された場合は非常事態です。

避難情報は「避難準備・高齢者等避難開始」「避難勧告」「避難指示（緊急）」の順に程度が高まります。

また、早い時間や被害がほとんど発生していないようなタイミングで「避難準備・高齢者等避難開始」を発令することがあります。これは夜中など、避難が困難であると想定される時間帯に危険水域に達する想定がされたときなどです。

## 水害が起こる状況



### ●水害が発生するとき

洪水は、大雨が降り続いた後に、河川が堤防を越え、氾濫することで発生します。堤防の高さまで水位が達しないときでも、堤防が削られて破堤することで、住宅地に濁流が流入する場合があります。

また、平地で大雨が降った場合、小さな川がすぐにあふれてしまったり、道路などが冠水してしまったりする恐れがあります。

### ●気象情報をチェック

テレビやラジオ、インターネットなどで気象情報を確認し、台風や大雨に関する警報・注意報・特別警報が発令されているときは、水害の発生にも特に注意してください。